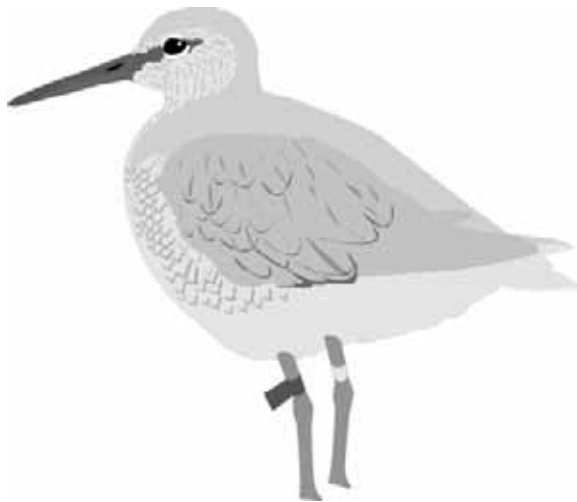


ネイチャーセンターだより



yuki

キアシシギ

Grey-tailed Tattler

浜辺にはシギやチドリの仲間が北から渡ってきています。その中でも数が多いのがキアシシギ。その名のとおりに黄色い足のシギなのです。

このキアシシギを見つけたら、足に何かついていないか見てみてください。足輪や色がついたフラッグがついていませんか？

シギやチドリの仲間は、長距離の渡りをするため(例えばキアシシギはシベリア東部からオーストラリアなどへ渡ります) 各国や地域で異なる足輪・フラッグが付けられ、渡りの状況が調査されています。

過去に風蓮湖を訪れたものには、左足上部に青いフラッグ、右足上部に銀色の足輪がついています。再び風蓮湖にやってきたキアシシギを探してみませんか？(Y)

今後のイベント

タンチョウ ウルトラクイズ

好評につき 9月30日まで開催中!

対象 どなたでも

定員・申込：必要なし

所要時間：15分～30分

概要 タンチョウをテーマにしたセルフガイドプログラム。「果たして、あなたはタンチョウのことをどれくらい知っているか?!」、身近なタンチョウ、しかし意外と知られていないのもタンチョウです。この機会に、ぜひともタンチョウに目を向けてもらいたいと思っています。

なお、全問正解者には、素敵なタンチョウのえはがきをプレゼントしています。



ネイチャーセンターまつり

日時 10月16日(日)

10:00～16:00

対象 どなたでも

定員・申込：必要なし

概要 ネイチャーセンターで一日中楽しもう!ボランティアグループ「スルク」が楽しいプログラムを用意して皆様のご来館をお待ちしております。クラフトコーナー、クイズ? 何があるかはお楽しみ! 遊びにきてください。

<お申込み・お問合せ先：ネイチャーセンター>

TEL 0153 - 25 - 3047

ラムサール条約 じょうやく を知ろう! (第3回)

Q3 . ラムサール条約は、水鳥の生息地である湿地を保護する条約だけど
いったい「湿地：ウエットランド」ってどんなところのこと？

A3 . 先月号の正解は、せんげつごう、せいがい、ばん 番 全部正解でした。

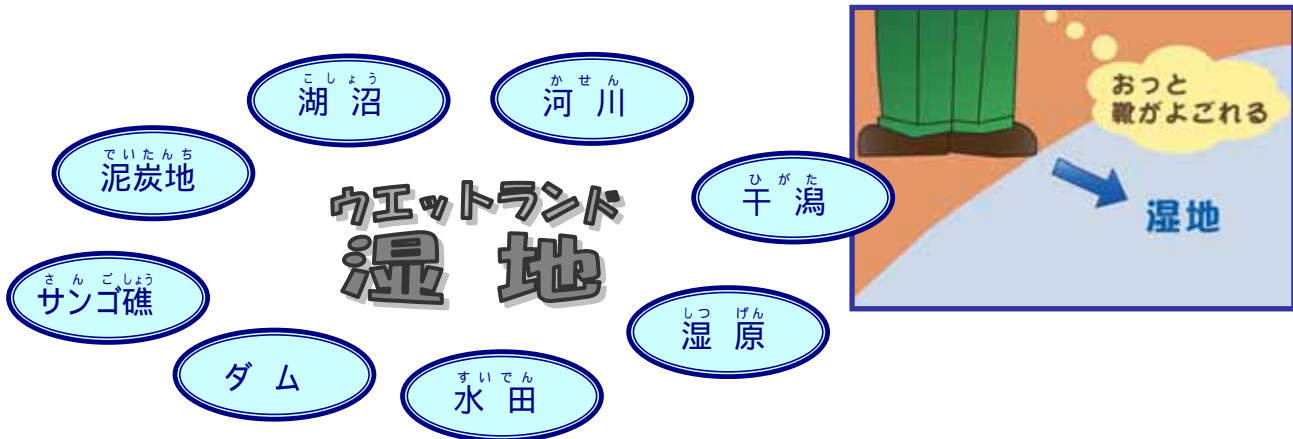
「湿地」とは、

やまからうみまで、みずでつながる環境のすべてのことをいいます。

イギリスの生態学者のテッドホリス博士は、

『ピカピカの靴が泥で汚れてしまうために

立ち止まるところ、そこから先こそが湿地である。』と例えています。



「ラムサール条約」の第1条では、天然のものであるか人工的なものであるか、永続的なものであるか一時的なものであるかを問わず、更には水が滞っているか流れているか、淡水であるか汽水であるか海水であるかを問わず、沼沢地、湿原、泥炭地または水域をいい、水深が6mを越えない海域を「湿地」としています。

「湿地」の生態系は、熱帯雨林と並ぶ高い生物生産力を持ち、湿地特有の動植物、特に水鳥の生息地として生態学的に、生物多様性の保全のために重要です。

また、漁業や観光などの経済上、海や湿原と人間との歴史、文化上、学術研究上、および市民のレクリエーションの上でも大きな価値を持っています。



Q4 . ラムサール条約は、水鳥の生息地である湿地を保護する条約だけど

いったい「水鳥」ってどんな鳥？

ハクチョウやガン、カモ
カラスやスズメ
オオワシ、オジロワシ、シマフクロウ

正解と解説は、次回このコーナーでお伝えします。

自然情報

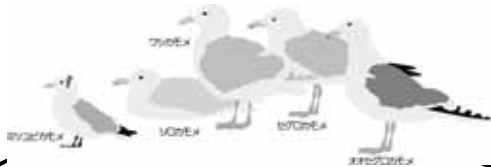
～ 9月にこんなの見られます～



9月は春国岱に秋の花が咲くように、鳥たちは秋の渡りの季節となります。
春国岱・自然学習林へ、いろいろな種類の花や鳥を探しにでかけよう！

カモメ

カモメにもいろいろな種類がいて、一年中いるカモメから渡りをするカモメまでいるって、知っていましたか？よく見ると大きさや足の色などが種類で違ってきます。カモメもじっくり見てみてください。



海鳥たち

夏の間をシベリアなど北の地方で暮らしていた鳥たちが、春国岱に渡ってきます。波の合間をよく見てみると、羽を休める海のカモたちがいます。ネイチャーセンターの望遠鏡からも探してみてください。



カモたち

夏を北で過ごしていたカモたちが戻ってきて、湖がにぎやかになります。数は10月の中旬ごろがピーク。それまで次から次へと増えていきます。今の時期は、オスもメスみたいな地味な色です。



結実

実りの季節がやってきます。森ではドングリやクルミの実がなり、浜ではハマナスの実が赤く熟してきます。運が良ければ、クルミを探すエゾリスの姿が見られるかもしれません。



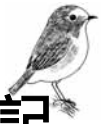
お知らせ

ぬかるむ所があります。長靴など汚れても良い靴で、足元に気をつけて歩いてください。
蚊がたくさん発生します。虫除け対策（スプレー・長袖など）も忘れずにしてください。

春国岱



ネイチャーセンター日記



ネイチャーセンターに新しい住人たちが増えた。7月23日のイベント「海の生き物見つけに行こう」で、参加者の皆さんと一緒に、捕まえた魚やカニの住む水槽を設置した。

水槽を観察していると、飽きることがない。少し目を離すと、周りの風景にとけこんで姿を見失ってしまうカレイの稚魚、大きな口のカジカの稚魚、新居の貝殻を探すヤドカリや、意外に速く移動するヒトデなど。普段目にする機会の少ない、風蓮湖や春国岱の水面下の様子を、ほんの少し垣間見ることができる。

センターに来たら、豊かな春国岱を支えている小さな生き物も観察してみてほしい。(Y)

ボランティアグループ「スルク」のご案内

「スルク」はネイチャーセンターの活動を支援、発展させるボランティアグループ。老若男女、様々な方々が活動しています。現在、以下のプロジェクトが進行中です！ご興味ある方は、ネイチャーセンターまで、ご連絡ください！！

「スルク」のプロジェクト

- | | |
|------------------|-------------------|
| 樹名板・オブジェ補修プロジェクト | 紙芝居プロジェクト |
| エゾシカ食害調査プロジェクト | 広報プロジェクト |
| 春国岱ガイドウォークプロジェクト | ネイチャーセンター祭りプロジェクト |
- など



メール配信のお願い

郵送料削減と省資源を目指し、ネイチャーセンターだよりをメール（PDF形式）で配信しています。ご協力下さる方は下記メールアドレスまで、ご自身のアドレスをお知らせ下さい。ご協力お願い致します。（郵送ご希望の方には今後もそのまま郵送いたします。）

連絡先：nemu_nc@marimo.or.jp

まちがいさがし



団体向けプログラムのご案内



- 野外解説 (1~2時間 / 10~20名)
- 自然のお話 (25分 / 10~45名)
- 自然のクイズラリー (1時間 / 10~50名)
- タンチョウのヒミツに迫るタンチョウゲーム (0.5~2時間 / 10~20名)

申込みが必要です。詳細はネイチャーセンターまでお問い合わせください。などの野外ガイドは、学校団体・市民団体等に限定させていただきます。

春国岱原生野鳥公園ネイチャーセンター

〒086-0074 北海道根室市東梅 103 番地

TEL0153-25-3047 FAX0153-25-8570

HP http://www.marimo.or.jp/~nemu_nc/workn/index.html

メール nemu_nc@marimo.or.jp

開館時間 4~9月 9:00~17:00

9月の休館日 7・14・20・21・26・28日

2005.9発行

上と下の絵には違っている場所が3箇所あります。どこでしょう？正解は次号。